



2023
年
7
月
28
日
No.
63



発行 石川県平和運動センター

<http://i-peace-ishikawa.com/> 金沢市西念 3-3-5 Tel076-233-2170

反戦・平和 人権 環境
脱原発の火を消すな！

戦争は命のやり取り…、だから「反戦・平和」も命がけ！

戦争準備の大軍拡と「改憲」に、職場から、強く、大きく反対を！

新（共同）代表挨拶



「2023年から未来を見据えて」

廣田 美智代（石川県教職員組合）

2023年は将来振り返ったときにどう見られるのでしょうか。5月の珠洲大地震や7月の線状降水帯による津幡やかほくの浸水被害。まだ復旧のさなかにいる人が何人もいて、このような人たちの生活を救済するために税金を投入してほしいと願います。しかし岸田政権が打ち出した「今後43兆円をかけて軍備拡張をする」というのはどうでしょうか。同政権はその任期中に国会で憲法を変えようと狙っています。憲法が変わるとこの国はどのようなのでしょうか。将来、子どもたちはどのようなのか？闘う相手は誰なのか？そもそも金といのちをかけて戦う必要があるのか？ウクライナを見れば「軍隊は国を守っても民を守らない」ということがわかっています。今私たち一人ひとりの姿勢が問われています。現実を知って考えること、そして行動することが必要です。

未来の人たちに「2023年からこの国がおかしくなった」と嘆かれないように。

改憲発議を止めよう！

岸田首相は先の国会で、今後5年間で「防衛費を倍増」させることを決定しました。

厳しい物価高のなか、日々の生活さえままならない私たち労働者・市民の現状をまったく見ない暴挙と言わなければなりません。しかも、東日本大震災復興のために私たちから徴収した税金さえ「軍事費」に横流しするものです。こんなことが許されていいのでしょ

うか。

いま政権内では、海外へ「殺傷能力のある武器」を輸出しようとしています。まさに「死の商人」です。これは、日本経済を「軍事化」するとともに、新たな軍事的利権を海外に求めるものです。

岸田政権は、「戦争する国」づくりの総仕上げとして憲法に「自衛隊」を明記し、首相独裁を可能とする「緊急事態条項の新設」を成し遂げようとしています。自・公、維新、国

民とともに来年の通常国会では「改憲発議」にのり出してくることは必至です。

これに抗う闘う体制づくりが急務です。

「新たな戦前」を許さないぞ！

昨年12月の安保三文書改訂を区切りに岸田政権は、米・中対立のなかで「台湾有事」への参戦準備を急いでいます。その核心は先制攻撃体制であり、米軍とともに「先制攻撃」できる体制を作ろうとするものです。まさに「新たな戦前」と言わなければなりません。

しかし、米・中は「核保有国」であるため、中国や米国本土が攻撃対象になることはなく、通常ミサイルが飛び交うのは、台湾と在日米軍と自衛隊、つまり台湾と日本が戦場になるのです。

犠牲になるのはいつも労働者・市民です。なんとしても「改憲」と「先制攻撃体制」に反対していかなければなりません。

ストップ！放射能汚染水

緊急アクションに参加を！

岸田政権は、「夏ごろ」「関係者の理解を得て」放射能汚染水を放出しようとしています。原子力推進機関であるIAEAの報告書を“盾”に、しかも中国の原発から放出している「汚染水」より「低いので問題ない」と言いくるめています。しかし福島第一原発の汚染水は、史上最悪のメルトダウンした核燃料デブリに触れた水であり、中国などとは違います。トリチウムやそれ以外の核種、さらには未知の汚染物質さえ含む「最悪の汚染水」なのです。たとえ40倍に薄めても、沖合1キロに放出しても、毒性があることの証明に過ぎません。しかも30～50年以上、海を汚染し続け食物連鎖も続きます。一体、何が起こるのか分からないのです。放射能は微量であっても微量の危険性があり「閾値（しきいち）」

はないのです。絶対に止めましょう。

第一部 講演学習会

8月19日（土）13:30～

近江町交流プラザ4階「集会室」

講演「汚染水放出がだめな理由 徹底解説！」

講師 伴英幸さん（原子力資料情報室）

第二部 街頭リレートーク

同日15:30～近江町市場前

チラシ配布、横断幕スタンディング

「爆音訴訟」に参加しませんか！

「小松基地第七次爆音訴訟」の原告を募集しています。ピースセンター小松からの呼掛けです。 ※ 電話 0761-21-0589

小松基地周辺のうるささ指数「75コンター」（75～80dB）以上の地域に住む方であればどなたでも原告になれます。

戦闘機の「飛行差止め」と「国家賠償」を求めて、さらには、墜落の危険性と隣り合わせての空自小松基地を、そして「有事」になれば標的となる基地を撤去させることを求めて闘いましょう。

「台湾有事」への参戦訓練

F35ステルス戦闘機配備反対！

8/2～8/10 イタリア空軍

8/23～9/15 オーストラリア空軍

戦争準備の共同訓練 やめて！

申し入れ8/2 14:00 小松基地 16:00 小松市

早朝集会8/23 7:00 小松基地正面ゲート



密かに敵基地を攻撃できるF35ステルス戦闘機との共同訓練に反対しよう！

5.15 沖縄平和行進に参加



復帰51年第16回「平和行進」に県平和センターから4名の仲間が参加しました。参加者は、「6.23 青年女性部集会」や金沢「反核・平和」行進で報告し、特に宮岸健一さん（県教組）の作成したDVDが好評で、高教組でもDVD講座が開催されました。

※講座希望者は平和センターまで

5.12 全国結団式（琉球新報ホール）



「台湾有事」を想定した南西諸島へのミサイル配備や日米の先制攻撃準備に反対する決意を固めた。



ガマを体験
沖縄を再び戦場にさせないぞ！



女学生らが、戦死者、戦傷者を看護し、自らも悲惨を体験。二度と繰り返さないで！



最終日
「基地のない島」を取

りもどすため奮闘しよう！

マイナンバーカードの強制反対！

マイナンバー（特定個人識別番号制）カードをめぐり、登録件数が水増し（500万件）されたり病院の窓口でマイナ保険証が利用できなかったり、公金受け取り口座に別人の口座が紐づけされたり、トラブルが続出しています。

個人情報の漏洩や国の一括管理が心配で自主返納する人も急増（47万件）しています。しかし河野デジタル相は、「微々たる数だ」と居直り、しかもトラブルの要因をすべて現場の労働者に押し付けています。

しかも、来秋には、現行の健康保険証を廃止し、紐付けを強制する姿勢を変えようとはしていません。

カード登録に税金まで投入して広めようとしているのはなぜでしょうか。

参戦準備、国民総動員体制の構築！

岸田政権は、特定個人の思想性、図書の出しや購入・ネット履歴、健康状態、家族構成などを瞬時に特定し、戦時や緊急時に「排除し」又は「拘束し」又は「徴用」するなど活用しようとしています。まさに個人情報を国家が一元「管理」することは、戦争への「総動員体制」づくりと言わなければなりません。

	トラブル内容	件数	原因	
マイナンバーを巡る主なトラブル	療育手帳	2336件	宮崎県で誤ってひも付け	
	障害者手帳	62件	静岡県で同姓同名の他人の番号をひも付け	
	マイナ保険証	7372件	健保組合などでの入力誤り	
	マイナポータル	1件	共済組合での入力誤り	
	公金受取口座	家族名義の口座に登録	約14万件	マイナンバーの漢字氏名と口座のカナ氏名が照合できず
		別人の口座を誤登録	940件	自治体端末のログアウト忘れなど
	マイナポイント	172件	自治体端末のログアウト忘れなどによる登録誤り	
	コンビニ交付サービス	15件	富士通子会社のシステム不具合	

7 / 14 東京新聞

原水禁被爆 78 周年「反核・平和」行進

県下 5 会場で様々な取り組み



6.12 内灘集会

富山県から6名、県教組かほく支部のほか県教組委員長など4役が参加 内灘町役場前



6.20 白山集会・行進

「今年は何としてもデモ行進を」の声在地

元からあがり実現。「うるわし」広場に約80名が参加。「核兵器廃絶」「核戦争反対」のシュプレヒコールが市内に響き渡りました。



6.24 能登地区集会・行進

羽咋平和センター、七鹿平和センター、輪島・穴水平和センター、珠洲平和センター、能登平和センターが合同で開催。志賀町赤住団結小屋前に約80名が参加し、志賀原発の再稼働反対！いまずぐ廃炉に！を訴えました。



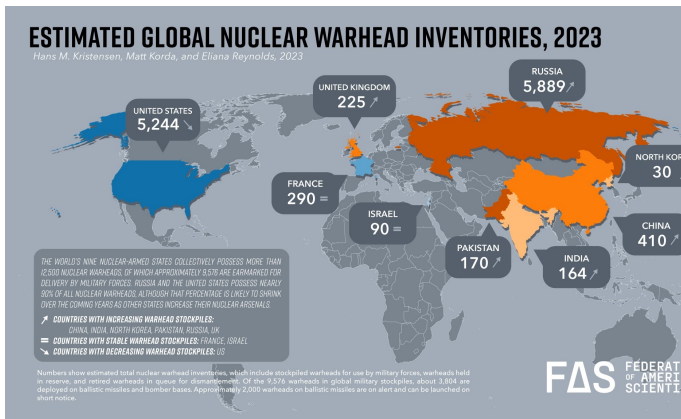
6.25 金沢集会・行進

四高記念公園に約100名が参加 会場には色とりどりの風船が用意され、子どもたちを含めた家族連れの姿も。沖縄平和行進に参加した2名の報告と労組（県教組、石交労組）からの決意を受け、デモとシュプレヒコールで市民にアピールしました。



6.29 南加賀集会・行進

「静かで平和な空を取りもどす」ため、先制攻撃も可能なF35A戦闘機の配備に反対しました。戦争の危機が高まる中でこそ、声を上げていこうと確認。小松市役所前に45名参加



2023/03調べ

核兵器の開発・製造・配備をやめろ！

核兵器の廃絶を実現するぞ！

日本政府は、核兵器禁止条約を批准せよ！